



かみのくにの むくいを まちのぞもう

マタイ
10章 41節

預言者を預言者だというので受け入れる者は、預言者の受ける報いを受けます。
また、義人を義人だということで受け入れる者は、義人の受ける報いを受けます。

私たちは、神様が導いておられる契約の旅路の中にいます。また、イエス様の弟子たちのように、伝道の旅路を歩いています。はたして、伝道の旅路には、どんな内容が含まれているのでしょうか。

最初に、神様は私たちが福音を伝えるとき、暗やみが離れる力を与えてくださいました。また、すべての弱さや病気をいやす力も与えてくださいました。(マタイ 10:1、8) 2つ目、何も恐れぬ力が生まれます。神様は私たちの必要とするすべてを満たしてください、守ってくださいるので、迫害や問題がきても揺れない力が生まれます。(マタイ 10:8-10、29-31)。3つ目、神の国の報いが待っています。預言者を助ける者は預言者の報いを、弟子を助ける者は弟子の報いを受けます。(マタイ 10:41) イエス様の弟子だということで、小さい者たちのひとりに、水一杯でも飲ませるなら、必ず報いを受けると約束してくださいました。(マタイ 10:42)

神様のみことばを約束として信じて、伝道の旅路を始めましょう。目には見えないものですが、さらに貴重な報いを神の国に積むレムナントになりましょう。



きょうのみことば

Blank lines for writing the daily word.



きょうのいのり

神様、ありがとうございます。伝道するときに与えられる神の国の報いを待ち望んで、毎日、伝道者の生活をする事ができますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



書いてみよう

伝道者が受ける神の国の報いとは、どんなことでしょうか。
下の()を埋めて、黙想しましょう。

マタイ 10:40~42 を参考にしてください

40 あなたがたを()者は、わたしを()のです。
また、わたしを()者は、わたしを遣わした方を()のです。
41 預言者を預言者だというので受け入れる者は、預言者の受ける()を受けます。
また、義人を義人だということで受け入れる者は、義人の受ける()を受けます。
42 わたしの弟子だというので、この小さい者たちのひとりに、()でも飲ませるなら、まことに、あなたがたに告げます。その人は決して()に漏れることはありません。

きょうのでんどう

会う人

準備する資料

Grid area for writing the daily devotion.

Blank lines for writing preparation materials.



もんだいに だまされないで！

ローマ
1章 17節

なぜなら、福音のうちには神の義が啓示されていて、その義は、信仰に始まり信仰に進ませるからです。「義人は信仰によって生きる」と書いてあるとおりです。

私たちには多くの問題があります。しかし、それが本当に問題なのかを確認してみなければなりません。神様が生きておられて、今、私を導いておられるなら、問題と見ることがむしろ祝福だったりします。神様はそのことを通して解答を与えようとされているのに、私たちが問題だけ見ているならば、その後ろにある祝福をのがしてしまうでしょう。

サタンは、にせ物の問題につまづくようにさせて、本当の問題は見えないようにさせる手段と方法で私たちをだましています。今は答えを受けるより、みことばと祈りで霊的な力を積むべき時です。今、積んだ霊的な力は、未来を準備する最高の答えです。この力を受ける方法は、みことばを握って祈りに集中することです。そうすれば、心に平安と喜び、感謝を抱くようになります。

これからは、問題のように思える状況の前で、神様のまことのみことばを見つけるレムナントになりましょう。私たちが積んだ霊的な力で、問題にだまされないで、神様の計画を発見するようになるでしょう。



きょうのみことば



きょうのいのり

神様、ありがとうございます。にせ物の問題にだまされないで、信仰によって未来を準備するレムナントになるように恵みを与えてください。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



色をぬろう

下の絵の色をぬりながら、問題の前でみことばによって答えを見つけるレムナントになりましょう。



きょうのでんどう

会う人

準備する資料

Blank grid area for writing notes.



27 けいやくの りよてい

マタイ
24章14節

この御国の福音は全世界に宣べ伝えられて、すべての国民にあかしされ、それから、終わりの日が来ます。

だれでも神様から救いの祝福を受けたなら、契約の旅程を歩んでいます。聖書には、この旅程を歩んだレムナントについての記録があります。彼らは、自分がだれなのか、また、どんな祝福を受けた存在なのかを知っていました。それゆえ、どんな問題や事件、危機がきても、落胆しませんでした。むしろ、祝福の機会にしました。孤独だったヨセフ、危機の中にいたモーセ、死の危機に何度もあったダビデも、その主人公でした。神様は、彼らをサミットの座に立てて、体験したすべてのことを契約の旅程にしてくださいました。

私達も、今、契約の旅程を歩んでいます。私がだれなのかを考えながら、神様が私に与えてくださった祝福を先に確認しましょう。福音を通して受けた救いの祝福を伝える契約の旅程を味わうようになるでしょう。



きょうのみことば



きょうのいのり

神様、ありがとうございます。聖書のレムナントのように、神様とともに歩む契約の旅程の中で、私の身分と与えられた祝福を、まず味わうことができますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



なやんで
います！

今月の悩みを見てください



パク・ウヨン牧師夫人！

わたし、なやんでいます。21 伝道者の生活 10 番目の質問！
神の子どもにとって、当然なこととは、なんですか。

当然ということばの意味は、そうなるのが当たり前だということです。神様にもといる存在として造られた神の子どもが、神様を離れば、当然、問題が来るでしょう（ローマ 3:23, 6:23）

それを未信者の状態（12の人生の問題）と言います。そうなるのは当然なことです。それゆえ、神様がそこに当然の答えを与えてくださいました。（1ヨハネ 4:10）その解答が、イエス様です。人の力では解決できない問題が、運命としてやって来たので、解決することなど、当然、できません。そのような問題を、イエス様が人の代わりに死んで、悪魔のしわざを打ちこわし、すべてののろいを終わらせて、解決してくださいました。（1ヨハネ 3:8）だれでもイエス様の御名を呼ぶだけで、当然、すべてののろいから抜け出せます。（ローマ 10:13）

このうれしいお知らせを人々は分からないまま、あいかわらず苦しんでいるので、教えてあげるべきでしょう。イエス様が私たちの心を支配してくださるなら、当然の結果として、伝道は成り立つのが当たり前のことになります。（使徒 1:8）

私達みんなで当然な伝道者の生活の中に入りましょう！



きょうのでんどう

あひと
会う人

じゆんび
しりょう
準備する資料

Blank grid area for writing notes or answers.

ただ、ゆいいつせい、さいそうぞう

使徒
1章8節

しかし、聖霊があなたがたの上に臨まれるとき、あなたがたは力を受けます。そして、エルサレム、ユダヤとサマリヤの全土、および地の果てにまで、わたしの証人となります。

福音を受けた私たちは、霊的サミットに向かって行けるようになりました。どこへ行っても、ただイエス・キリストが必要だという事実を見つけるなら、それは霊的サミットに行く始まりとなるのです。私たちが必ず見つけたいと神様に祈るなら、父なる神様が分かるようにして下さいます。そうすれば、他の人ができない唯一のことが答えとしてきて、すべての人を生かす再創造のみわざが起きます。そのとき、他の人が見ることでできないことを見て、他の人が行かないところに行くようになります。そのような人を、ただ、唯一性、再創造の人だと言います。

私たちがそれぞれのいる場所で、ただ、唯一性、再創造の人になったら、全世界を動かす霊的祝福を味わうことができるでしょう。そのような未来を待ちながら、ずっと集中して祈らなければなりません。10年後、20年後、おとなになるまで続けて挑戦すれば良いのです。倒れたり、失敗したときは、もう一度、始めましょう。神様が世界中の人を生かすために、すでに私たちに準備されたことですから！



きょうのみことば

きょうのいのり

神様、ありがとうございます。ただ、唯一性、再創造の答えを受けて、全世界を生かす霊的サミットの祝福を与えてください。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



ちがいを
みつけよう

霊的サミットの祝福を求めたエリシャの絵です。

2つの絵のちがいをみつけながら、霊的サミットを求めましょう。ちがいは、5つあります。



きょうのでんどう

あひと
会う人

じゅんび
しりょう
準備する資料



29

きんようび

わたし、わたしのこと わたしのげんば

テトス
1章 3節

神は、ご自分の定められた時に、このみことばを宣教によって明らかにされました。私は、この宣教を私たちの救い主なる神の命令によって、ゆだねられたのです——このパウロから、

神様は世界を生かすために私たちをサミットとして呼ばれ、世界福音化という契約をくださいました。神様から与えられた契約は、神様が必ず成就してくださいます。契約には旅程があります。私たちが契約の旅程の中にいるなら、どんなことをしても、神様の願われる場にそれぞれの人を神様が導かれるでしょう。ときどき、予測不可能な困難にあうこともあります。しかし、そのことがより大きな神様の計画を発見する道具になります。苦しんでいる人に会ったら、その人によって福音でいやす祝福を味わうことができるでしょう。神様が、足りなくて弱い私たちを通して世界福音化の契約を成し遂げられるからです。

このように、契約の旅程を歩んでいる私たちが、ともにすべきことがあります。神様が造られた私を見つけましょう。それは、福音によって救われた私に与えられた背景、身分、権威を知って黙想することです。また、私のために準備された私のこと、すなわち、タラントを見つけましょう。そうすれば、神様が備えてくださった私の現場に立つようになります。ここに合わせて、つづけて祈りながら、みことばを握れば良いのです。毎日、すべての現場、すべての出会いの中で、この祝福を味わいましょう。

きょうのみことば

きょうのいのり

神様、ありがとうございます。まことの私、私のこと、私の現場を見つけますように。神様が与えてくださった世界福音化の契約によって導いてください。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



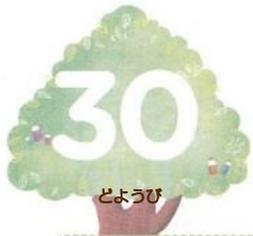
この時代は5つのわざわい時代です。私、私のこと、私の現場を見つけて行く私たちを通して、この世を生かす未来の時刻表を夢見て、()の中に自分の名前を書きましょう。



きょうのでんどう

あひと
会う人

じゅんび
準備する資料



かみのこどもが いく みち

どうぶつ

エペソ 2章 10節 私たちは神の作品であって、良い行ないをするためにキリスト・イエスにあって造られたのです。神は、私たちが良い行ないに歩むように、その良い行ないをもあらかじめ備えてくださったのです。

道に迷った人は、どんなにがんばって進んでも、目指す到着地に行くことはできません。神様に会う道も同じです。神様は、ただイエス・キリストによってのみ会うことができます。そのとき、神の子どもになります。熱心に勉強して、良いことをたくさんしても、イエス・キリストを知らないならば、神様に会うことはできません。そのような人は、自分も知らないまま悪魔の子どもの身分を持って生きようになります。どんなことをしても、サタンの奴隷としての働きになってしまいます。結局、「私を中心」であるゆえに、肉体と成功に縛られて生きていくようになります。(創世記3、6、11章)たとえ成功しても、偶像と暗やみ文化のなかで、解決することができない霊的問題にとらわれたまま生きようになります。

私たちの霊的な身分は神の子どもです。私と私たちとともにおられる神様を味わうとき、なにをしても、どこにいても、それは神様の計画を成し遂げる道になります。

これからは、私の成功や目標のためではなく、神様のみこころのために導かれることを祈りましょう。神様に導かれる道を歩いて行くなれば、心配する必要も、欲張りになる必要もないのです。良い行いに歩むように、神様はあらかじめ備えてくださった道に私を正確に導いてくださるからです。

きょうのみことば

きょうのいのり

神様、ありがとうございます。神の子どもに与えられた完ぺきな祝福を見ることができない考えと生活が変わりますように。神様が私とともにおられる祝福を味わいますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン
産業宣教メッセージ | 2018.11.24



適用しよう

神の子どもは、毎日3つのシステムで導かれるべきです。どんなシステムなのか、黙想しながら、空いているところに作品をかきましょう。



きょうのでんどう

あひと 会う人

じゅんび しりょう 準備する資料

Blank lined area for writing preparation materials.